



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
 コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 憲治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 八巻 唯史
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6414-5522

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	27,678	4.3	1,523	38.0	1,791	40.7	1,161	53.2
29年3月期第2四半期	28,926	4.2	1,103	11.6	1,273	12.6	757	5.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 986百万円 (48.9%) 29年3月期第2四半期 1,930百万円 (15.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	82.11	
29年3月期第2四半期	53.65	

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	94,019	69,121	73.5	4,884.19
29年3月期	98,946	68,817	69.5	4,866.59

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 69,121百万円 29年3月期 68,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				50.00	50.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	0.2	1,800	17.4	2,000	20.6	1,300	14.1	91.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(平成29年11月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,325,642 株	29年3月期	15,325,642 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,173,642 株	29年3月期	1,184,935 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	14,146,374 株	29年3月期2Q	14,127,253 株

(注)1. 自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株E S O P信託口)の所有する当社株式が含まれております。

2. 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2 . 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日~平成29年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いているなか、個人消費も緩やかに持ち直しており、企業収益も改善傾向で推移しております。海外経済ではアメリカやユーロ圏の景気が回復している一方、イギリスのEU離脱や国際情勢の緊迫化など不安定要素が増しており、先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比4.3%減の27,678百万円となりましたが、砂糖事業の増益等もあり、経常利益は前年同期比40.7%増の1,791百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比53.2%増の1,161百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

< 砂糖事業 >

海外砂糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初16.54セントで始まり、6月には主要生産国のインドやタイ、中国、欧州の生産量増加見込みにより、世界市場が3年ぶりに供給過剰に転じるとの予想に加え、ブラジルの順調なサトウキビの圧搾作業により、12.55セントまで下落しました。

その後、8月にブラジルがエタノールの輸入関税導入を決定したこと等もあり、相場は上昇し13.54セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内砂糖市況につきましては、期初195円~196円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まりましたが、海外砂糖相場下落を受けて7月に189円~190円に下落し、そのまま当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖は、前年同期に比べ国内砂糖市況の上昇に伴い販売価格は上昇しましたが、平成28年産糖の大幅な生産の落ち込みから、原料糖の販売量が大きく減少し、販売量、売上高とも前年同期を下回りました。

精糖は、国内砂糖市況の上昇に伴い販売価格は上昇しましたが、需要の減少もあり販売量が減少し、売上高も前年同期を下回りました。

砂糖セグメントの売上高は前年同期比7.2%減の20,172百万円となりましたが、セグメント利益は、コスト削減と営業努力等により、前年同期比85.2%増の1,139百万円となりました。

< 食品事業 >

イーストは、販売量、売上高とも前年同期を上回りました。

オリゴ糖等機能性食品は、ラフィノースなどオリゴ糖の販売量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

食品セグメントの売上高は前年同期比2.1%増の1,340百万円となりましたが、セグメント利益は、イースト等の製造原価の増加等により、前年同期比33.3%減の100百万円となりました。

< 飼料事業 >

配合飼料は、販売量の増加と販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。

ビートパルプは、前期の生産量減少による繰越在庫数量減少のため、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

飼料セグメントの売上高はほぼ前年同期並の3,672百万円となり、65百万円のセグメント損失(前年同期は22百万円のセグメント損失)となりました。

< 農業資材事業 >

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、そ菜用の売上が好調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

農業機材は、移植機関連の販売増加等により、売上高は前年同期を上回りました。

農業資材セグメントの売上高は前年同期比5.4%増の1,082百万円となり、41百万円のセグメント損失(前年同期は36百万円のセグメント損失)となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高はほぼ前年同期並の 696 百万円となり、セグメント利益は前年同期比 4.0%増の 454 百万円となりました。

<その他>

その他のセグメントの売上高は石油類の販売増加等により前年同期比 26.2%増の 712 百万円となりましたが、110 百万円のセグメント損失（前年同期は 102 百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 4,926 百万円減の 94,019 百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の減少により前連結会計年度末比 5,097 百万円減の 42,772 百万円となり、固定資産は、前連結会計年度末比 171 百万円増の 51,246 百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比 5,230 百万円減の 24,898 百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比 5,111 百万円減の 11,928 百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比 119 百万円減の 12,970 百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末比 304 百万円増の 69,121 百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、12,061百万円の収入となり、前年同期に比べ、439百万円の資金の増加となりました。

これは、主にたな卸資産の増減額の増加で982百万円、その他の流動負債の増減額の減少により779百万円の資金の減少となったものの、その他の流動資産の減少により1,096百万円、税金等調整前四半期純利益の増加により573百万円、未収入金の増減額の減少により405百万円の資金の増加となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、394百万円の支出となり、前年同期に比べ、2,701百万円の資金の増加となりました。

これは、主に有価証券の収支差により2,500百万円、定期預金の収支差による収入で100百万円の資金の増加となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、8,350百万円の支出となり、前年同期とほぼ同額の資金の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ370百万円増加し、11,998百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期連結・個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年11月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,182	6,698
受取手形及び売掛金	6,825	7,343
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	22,315	7,808
仕掛品	619	212
原材料及び貯蔵品	2,396	3,494
その他	1,532	7,216
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	47,870	42,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,922	10,764
その他（純額）	11,821	12,159
有形固定資産合計	22,744	22,923
無形固定資産		
	113	99
投資その他の資産		
投資有価証券	27,001	26,733
退職給付に係る資産	985	1,041
その他	236	453
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	28,217	28,223
固定資産合計	51,075	51,246
資産合計	98,946	94,019

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	958	1,097
短期借入金	9,798	2,079
未払法人税等	401	615
災害損失引当金	199	35
その他	5,682	8,101
流動負債合計	17,039	11,928
固定負債		
長期借入金	227	283
役員退職慰労引当金	11	14
退職給付に係る負債	4,819	4,837
その他	8,030	7,835
固定負債合計	13,089	12,970
負債合計	30,129	24,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	41,392	41,848
自己株式	△2,455	△2,432
株主資本合計	55,620	56,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,085	12,897
繰延ヘッジ損益	△1	5
退職給付に係る調整累計額	112	118
その他の包括利益累計額合計	13,196	13,020
純資産合計	68,817	69,121
負債純資産合計	98,946	94,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	28,926	27,678
売上原価	20,966	19,821
売上総利益	7,960	7,856
販売費及び一般管理費		
販売費	5,357	4,856
一般管理費	1,499	1,476
販売費及び一般管理費合計	6,857	6,333
営業利益	1,103	1,523
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	234	247
持分法による投資利益	22	27
その他	38	78
営業外収益合計	298	357
営業外費用		
支払利息	43	40
固定資産処分損	72	34
その他	13	13
営業外費用合計	128	88
経常利益	1,273	1,791
特別利益		
固定資産売却益	-	9
特別利益合計	-	9
特別損失		
固定資産処分損	43	17
減損損失	-	66
投資有価証券評価損	-	27
災害による損失	111	-
その他	1	-
特別損失合計	157	111
税金等調整前四半期純利益	1,116	1,690
法人税等	358	528
四半期純利益	757	1,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	757	1,161

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	757	1,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,144	△187
繰延ヘッジ損益	1	6
退職給付に係る調整額	26	5
その他の包括利益合計	1,172	△175
四半期包括利益	1,930	986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,930	986
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,116	1,690
減価償却費	1,141	1,068
減損損失	-	66
持分法による投資損益(△は益)	△22	△27
災害損失引当金の増減額(△は減少)	-	△163
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△70	37
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△48	△68
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15	2
受取利息及び受取配当金	△237	△251
支払利息	43	40
投資有価証券評価損益(△は益)	-	27
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	△10
有形固定資産除却損	42	29
売上債権の増減額(△は増加)	△201	△517
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,797	13,815
前払費用の増減額(△は増加)	△196	△71
未収入金の増減額(△は増加)	△253	151
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△6,976	△5,879
仕入債務の増減額(△は減少)	△100	138
未払消費税等の増減額(△は減少)	△265	△353
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,142	2,363
その他	4	△69
小計	11,891	12,017
利息及び配当金の受取額	237	251
利息の支払額	△56	△50
保険金の受取額	-	137
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△450	△294
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,621	12,061
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800	△1,300
定期預金の払戻による収入	-	600
有価証券の取得による支出	△3,500	△9,000
有価証券の売却及び償還による収入	2,500	10,500
有形固定資産の取得による支出	△1,218	△930
有形固定資産の売却による収入	11	49
貸付けによる支出	△30	△222
預り保証金の返還による支出	△92	△87
その他	33	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,096	△394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,920	1,920
短期借入金の返済による支出	△9,620	△9,620
長期借入れによる収入	130	130
長期借入金の返済による支出	△93	△93
配当金の支払額	△702	△703
自己株式の売却による収入	25	26
その他	△9	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,349	△8,350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	175	3,316
現金及び現金同等物の期首残高	11,452	8,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,628	11,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	21,732	1,313	3,608	1,027	680	28,362	564	28,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	92	16	6	37	56	208	1,982	2,190
計	21,824	1,329	3,614	1,064	736	28,570	2,547	31,117
セグメント利益 又は損失()	615	149	22	36	436	1,142	102	1,040

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,142
「その他」の区分の利益又は損失()	102
セグメント間取引消去	65
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,103

当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	20,172	1,340	3,672	1,082	696	26,965	712	27,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	16	8	38	56	206	1,860	2,067
計	20,259	1,356	3,681	1,121	753	27,171	2,573	29,745
セグメント利益 又は損失()	1,139	100	65	41	454	1,586	110	1,476

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,586
「その他」の区分の利益又は損失()	110
セグメント間取引消去	47
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,523